

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピー大宮桜木町4丁目教室		2025 年 10 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	ペア活動にしてスペースを工夫している 個人個人の特性に合わせた支援を行っている 点は工夫していると思います。 部屋が分かりやすいように色分けされている。 ニーズに合わせた部屋配置をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	4	人数や特性によって部屋を分けている ペア化・集団化にすることで利用の確保を行っている。 利用定員に基づきながら職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	5	ボールなど危険なものは、お子様が勝手に触れないように片付けている。 部屋の構造は分かりやすい。	教室に来所するために階段ではなくバリアフリー化は改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		掃除は毎日している。時々整理整頓もしている。 掃除を徹底しています。また、教材も片付けやすいように工夫しています。 毎朝掃除をして清潔に保っている。	活動場所と廊下の仕切りに柵があり、利用者が自主的に選べる空間になっている。事故のリスクもあるため利用の仕方の改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		時間にもよるが確保できている 他の部屋を全て使用していて、使用できないときはパーテーションを使い必要に応じて使用できるようになっている。	相談室で話を個別に聞くことができるようになっていますが、状況によって確保できないことがあるので支援配置の見直しが必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	必要に応じて会議を招集して、共有しています。	教室全体で意識して動くことが必要。会議を通して方向性の統一を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	職員会議等で共有している。 ご意見に関しては改善すべきものは教室で検討して改善を行っている。	様々なご意見を教室全体で確認し、安心して通所して頂けるよう取り組んでいく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	職員会議を適宜開き、意見を言う場を設けている。 職員会議等で意見交換を行っている。	職員同士が様々な意見交換ができる環境設定を今まで以上に整えていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	現在第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修だけでなく、日々の業務から学んでいます。 社内研修が定期的に開催されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	HP上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		検討会議を行い、皆から意見を貰っている機会はある。 アセスメントシートの即して、丁寧に聞き取り、もれなく聞くようにしている。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		更新の前に児童発達支援管理責任者主導のもと検討会を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援前に個別支援計画書を確認してから支援内容を決めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		ハッピーのアセスメントシートを利用している。日々の様子をスタッフ間で適宜共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		個別支援計画の検討会で、意見を調整している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		個別では個々が行っているが、集団やイベントの企画はチームで立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童の特性や好みを取り入れつつ、個別支援計画の目標を取り入れるようにし、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別ばかりでなく、学校の集団に繋げられるように小集団の支援を必要に応じて入れるように促している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		集団支援の場合、複数の職員が支援に入るので、支援の流れや配置など共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	伝えたいことがあれば、共有している。またFBで聞き取ったこともミーティングで伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		引継ぎが行いやすいように、具体的に記録を残すようにしている。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	6か月に1度モニタリングを行い目標の再確認をし適宜見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	ガイドラインに基づき「本人支援」「地域連携」「家族支援」「移行支援」に基づきながら支援を行っている。	「移行支援」「地域連携」に力を入れることで地域でサポートできる環境を目標に取り組んでいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自己決定できそうなことや、選択させて方がいいと思われることは自己選択できるように声掛けや促しで工夫している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	児童発達支援管理責任者主導の基職員全体で参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	保護者の必要に応じて連携できるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	保護者からの必要に応じて、学校と情報共有している。同じ方向性で支援ができるように話し合いをしている。 学校訪問を行いながら情報共有を行っている。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	児童発達支援事業所は自社にあるので、共有している。	保育園・幼稚園などは今のところ情報共有は行っていない。今後行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	家族支援の掲示を行うなど社内でのペアレントトレーニングを案内している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		更新毎に説明を行い同意を得たうえで支援を提供している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		服薬やてんかんのあるお子様は、情報共有して確認している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	保護者からの聞き取りや保護者が記入したアレルギーの同意書を確認し、丁寧に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2		